



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社マナック・ケミカル・パートナーズ

上場取引所 東

コード番号 4360 URL <https://mcps.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 杉之原 祥二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ財務戦略室長 (氏名) 吉田 誠吾

TEL 03-5931-0554

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日

2025年11月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,804	29.2	452	—	503	—	465	—
2025年3月期中間期	4,494	7.1	212	—	195	—	137	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 555百万円 (—%) 2025年3月期中間期 178百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	57.27	—
2025年3月期中間期	17.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	14,461	10,856	75.1
2025年3月期	12,646	10,305	81.5

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 10,856百万円 2025年3月期 10,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	7.50	—	5.00	12.50
2026年3月期	—	5.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,350	11.2	300	—	360	—	250	—	30.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ― 社（社名）、除外 ― 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	8,625,000 株	2025年3月期	8,625,000 株
2026年3月期中間期	450,810 株	2025年3月期	519,810 株
2026年3月期中間期	8,120,272 株	2025年3月期中間期	8,058,377 株

期末自己株式数

期中平均株式数（中間期）

第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や訪日外国人旅行者数の増加等により回復傾向がみられる一方で、米国のトランプ政権による関税政策や中東・ウクライナでの紛争など海外情勢は混迷しており、国内外の景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下で当社グループは、顧客への取引深耕に一体となり積極的に取組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は5,804百万円（前年同期比+1,310百万円、29.2%増）、営業利益は452百万円（前年同期は営業損失212百万円）、経常利益は503百万円（前年同期は経常損失195百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益は465百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失137百万円）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、電子材料製品において一部需要が減少したものの、全体としては安定した需要を維持いたしました。電子材料、医薬関連製品等の新規品目の開発が順調に進んでおり、医薬分野においては大型スポット案件の販売により、売上高及び利益ともに増加いたしました。

その結果、売上高は2,857百万円（前年同期比+1,023百万円、55.8%増）、セグメント利益は701百万円（同+400百万円、132.9%増）となりました。

②難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、電子材料部材や家電製品等に使用されるプラスチック用難燃剤市場の需要が一旦回復傾向で推移したことに加え、製品における販売単価の見直しにより、売上高及び利益ともに増加いたしました。また、前期末に実施した減損処理による減価償却費減少も一部利益増加に繋がりました。

その結果、売上高は2,232百万円（前年同期比+245百万円、12.4%増）、セグメント利益は239百万円（同+236百万円、前年同期はセグメント利益2百万円）となりました。

③ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、主力の人工透析用薬剤の原料が安定した需要を維持いたしました。また、一部製品における販売単価の見直しにより、売上高及び利益ともに増加いたしました。

その結果、売上高は714百万円（前年同期比+41百万円、6.2%増）、セグメント利益は61百万円（同+35百万円、134.3%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,815百万円増加し、14,461百万円となりました。これは主に、大型設備投資に伴う有形固定資産が増加したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,265百万円増加し、3,605百万円となりました。これは主に、大型設備投資に伴う借入金、原材料仕入等に伴う買掛金が増加したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて550百万円増加し、10,856百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点における業績は堅調に推移しておりますが、今後の需要動向や市況の影響を受ける可能性があることから、第3四半期以降の業績は先行き不透明な状況が継続すると想定しております。このため、2025年5月30日の「2026年3月期 通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,767	3,533
受取手形及び売掛金	2,100	2,487
電子記録債権	531	454
商品及び製品	2,193	1,980
仕掛品	621	544
原材料	726	789
その他	108	148
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	9,045	9,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	501	487
機械装置及び運搬具（純額）	371	462
土地	636	636
建設仮勘定	111	939
その他（純額）	127	111
有形固定資産合計	1,748	2,637
無形固定資産	143	132
投資その他の資産		
投資有価証券	1,520	1,583
繰延税金資産	109	94
その他	78	77
投資その他の資産合計	1,708	1,754
固定資産合計	3,600	4,525
資産合計	12,646	14,461

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,418	1,892
1年内返済予定の長期借入金	—	50
未払法人税等	66	113
賞与引当金	136	120
その他	568	775
流動負債合計	2,190	2,952
固定負債		
長期借入金	—	445
繰延税金負債	135	189
その他	14	17
固定負債合計	150	652
負債合計	2,340	3,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	300	300
資本剰余金	3,453	3,438
利益剰余金	6,513	6,937
自己株式	△377	△327
株主資本合計	9,888	10,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	403	493
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	12	14
その他の包括利益累計額合計	416	507
純資産合計	10,305	10,856
負債純資産合計	12,646	14,461

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	4,494	5,804
売上原価	3,800	4,469
売上総利益	693	1,334
販売費及び一般管理費	905	881
営業利益又は営業損失（△）	△212	452
営業外収益		
受取利息及び配当金	22	35
その他	12	20
営業外収益合計	34	56
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	16	4
その他	0	0
営業外費用合計	17	5
経常利益又は経常損失（△）	△195	503
特別利益		
関係会社株式売却益	—	74
固定資産売却益	—	10
特別利益合計	—	85
特別損失		
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△195	588
法人税、住民税及び事業税	29	95
法人税等調整額	△87	28
法人税等合計	△58	123
中間純利益又は中間純損失（△）	△137	465
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△137	465

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	△137	465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	89
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△2	1
その他の包括利益合計	△40	90
中間包括利益	△178	555
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△178	555

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△195	588
減価償却費	236	171
賞与引当金の増減額（△は減少）	4	△15
受取利息及び受取配当金	△22	△35
支払利息	—	0
関係会社株式売却損益（△は益）	—	△74
有形固定資産除売却損益（△は益）	0	△9
売上債権の増減額（△は増加）	317	△309
棚卸資産の増減額（△は増加）	48	225
仕入債務の増減額（△は減少）	△255	472
その他	△58	0
小計	74	1,013
利息及び配当金の受取額	22	35
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△2	△56
営業活動によるキャッシュ・フロー	94	991
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△170	△835
有形固定資産の売却による収入	—	12
投資有価証券の取得による支出	△1	—
関係会社株式の売却による収入	—	142
その他	—	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171	△678
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	—	△4
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2	△4
配当金の支払額	△60	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62	450
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△153	766
現金及び現金同等物の期首残高	3,286	2,767
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,133	3,533

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,834	1,986	673	4,494
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,834	1,986	673	4,494
セグメント利益	301	2	26	330

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	330
全社費用（注）	△542
中間連結損益計算書の営業損失（△）	△212

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

II 当中間連結会計期間（自2025年4月1日 至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,857	2,232	714	5,804
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,857	2,232	714	5,804
セグメント利益	701	239	61	1,002

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,002
全社費用（注）	△549
中間連結損益計算書の営業利益	452

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

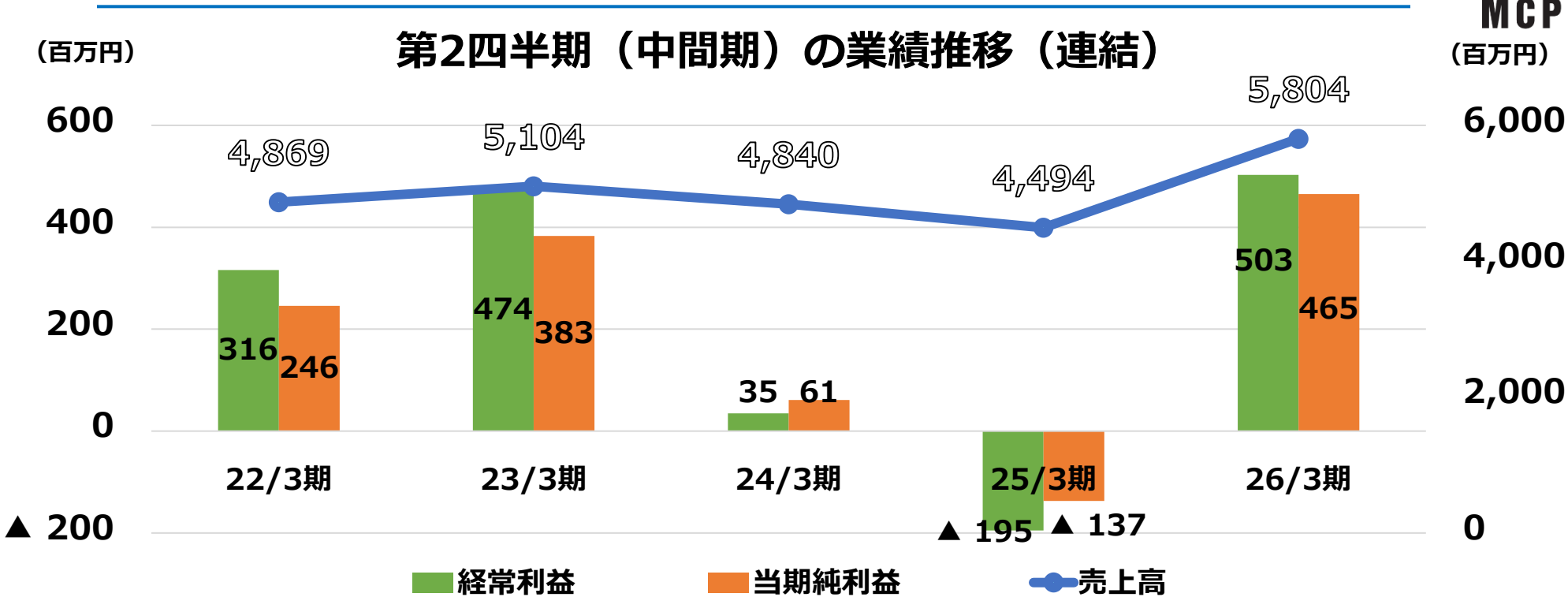
該当事項はありません。



MCPs

(百万円)

2026年3月期第2四半期（中間期）の業績状況（連結）



2026年3月期第2四半期は、ファインケミカル事業においては**新規品目開発の進展及び医薬分野の大型スポット案件の販売**により、売上高・利益ともに増加いたしました。難燃剤事業においても、**需要の一時的な回復や販売単価の見直し、加えて前期末の減損処理に伴う減価償却費減少**により、売上高・利益ともに増加いたしました。しかしながら、第3四半期以降は難燃剤及びファインケミカル製品の需要動向や市況の影響を受ける可能性があることから、先行きは不透明な状況にあります。引き続き事業環境を注視しつつ、成長戦略として**ファインケミカル事業における投資を計画的に進め、収益性向上に向けた取組みを継続**してまいります。

事業投資の進捗状況

投資分野 **ファインケミカル事業**

株式会社マナック・ケミカル・パートナーズ（MCPs）

臭素化合物の受託事業や樹脂添加剤において、設備と技術力の強みを持つ**錦海化学株式会社**（岡山県瀬戸内市）の株式を取得します。今後はグループ会社間の連携を取りながら、各自の強みを生かした協業を進め、グループ全体の成長につなげてまいります。

投資分野 **ファインケミカル事業**

マナック株式会社（MCPsの100%連結子会社）



金属管理技術関連設備を設置する
新事務棟（25年11月現在）

当社事業子会社のマナック株式会社は、金属不純物管理技術向上および**ヨウ素化合物**を中心とした半導体関連製品の受託開発拡大するため、福山工場（広島県福山市）における金属管理技術関連設備の設置を進めております。

現在、計画は**予定通り進んでおり、2026年度内の稼働開始**を目指しております。